

格子点の個数【類題2】

座標平面上で、 x 座標と y 座標が共に整数である点を格子点という。
 n を自然数であるとして、不等式

$$x > 0, y > 0, \log_2 \frac{y}{x} \leq x \leq n$$

を満たす格子点の個数を求めよ。

< '99 京都大 >

【戦略】

$x=k$ と固定したときに、 y がとり得る範囲を調べます。

$$\begin{cases} k > 0 \\ y > 0 \\ \log_2 \frac{y}{k} \leq k \leq n \end{cases}$$

特に、 $\log_2 \frac{y}{k} \leq k$ 、すなわち $\log_2 \frac{y}{k} \leq \log_2 2^k$ ですから

$$\frac{y}{k} \leq 2^k \text{ で、} y \leq k \cdot 2^k \text{ を得ます。}$$

$y > 0$ も考えると $0 < y \leq k \cdot 2^k$ です。

つまり、 $x=k$ 上には $(k, 1), (k, 2), \dots, (k, k \cdot 2^k)$ という $k \cdot 2^k$ 個の格子点があります。

したがって、 $\sum k \cdot 2^k$ という形の \sum 計算です。

これは(等差)×(等比)型であり、公比をかけてズラす「カケズラ」という態度で倒すのが常套手段です。

【解答】

$$x=k \text{ と固定したとき } \begin{cases} k > 0 \dots \textcircled{1} \\ y > 0 \dots \textcircled{2} \\ \log_2 \frac{y}{k} \leq k \leq n \dots \textcircled{3} \end{cases}$$

を満たす整数 y が何個あるかを調べる。

$$\textcircled{3} \text{ より } \log_2 \frac{y}{k} \leq k, \text{ すなわち } \log_2 \frac{y}{k} \leq \log_2 2^k$$

$$\text{(底)} > 1 \text{ より、} \frac{y}{k} \leq 2^k$$

$$\textcircled{1} \text{ より } y \leq k \cdot 2^k \text{ であり、} \textcircled{2} \text{ も考えると } 0 < y \leq k \cdot 2^k$$

$x=k$ と固定したとき、整数 y がとり得る値は

$$y = 1, 2, \dots, k \cdot 2^k$$

つまり、 $x=k$ 上には

$$(k, 1), (k, 2), \dots, (k, k \cdot 2^k)$$

という $k \cdot 2^k$ 個の格子点がある。

①, ③ から $0 < k \leq n$ なので、 $k = 1, 2, \dots, n$

求める格子点の個数を S とすると

$$S = \sum_{k=1}^n k \cdot 2^k \text{ であり}$$

$$S = 1 \cdot 2^1 + 2 \cdot 2^2 + 3 \cdot 2^3 + \dots + n \cdot 2^n$$

$$2S = 1 \cdot 2^2 + 2 \cdot 2^3 + \dots + (n-1) \cdot 2^n + n \cdot 2^{n+1}$$

公比をかけてズラす
(カケズラ)

辺々引くと

$$-S = 2 + 2^2 + 2^3 + \dots + 2^n - n \cdot 2^{n+1}$$

$$= \frac{2(2^n - 1)}{2 - 1} - n \cdot 2^{n+1}$$

$$= (1 - n) \cdot 2^{n+1} + 2$$

これより、 $S = (n-1) \cdot 2^{n+1} + 2$ なので、求める格子点の個数は

$$(n-1) \cdot 2^{n+1} + 2 \text{ 【個】} \dots \text{ 罫}$$

【総括】

$x > 0, y > 0$ の下で、

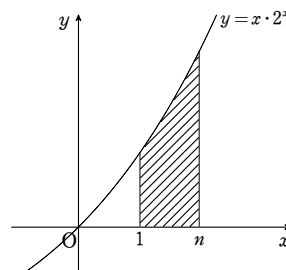
$$\log_2 \frac{y}{x} \leq x \Leftrightarrow \log_2 \frac{y}{x} \leq \log_2 2^x \Leftrightarrow \frac{y}{x} \leq 2^x \Leftrightarrow y \leq x \cdot 2^x$$

という変形できます。

ただ、 $y = x \cdot 2^x$ のグラフは有名人ではないため、怯んでしまったかもしれませんが、格子点を数え上げる基本原理が分かっているならば、切って \sum するだけです。

ただ、 $x > 0$ で $y = x \cdot 2^x$ は単調増加であることぐらいは分かります。

イメージで図示すると



といった感じです。